

今回は緑内障についてのお話です。

緑内障は、糖尿病性網膜症・白内障とならぶ失明原因の上位に位置する病気です。40～50歳代になると多く発症し、40歳以上の人の30人に1人の割合で発症しています。慢性の場合、初期はほとんど自覚症状がなく末期になると視野が欠ける、見えにくいなどの視野障害が現れます。視神経にはほとんど再生能力がないため早期発見、早期治療が極めて大切になってきます。

< 緑内障とはどんな病気？ >

緑内障とは眼球の角膜と、水晶体(レンズ)の間を満たしている房水の循環障害により、房水が溜まって眼圧が上昇し視野欠損、視力低下を起こす眼の病気です。

- ・房水とは角膜や水晶体などの組織に栄養を与える液。
- ・眼圧とは眼球における一定の張力、圧力の事。

< 緑内障の分類 >

1、開放隅角緑内障

房水の排水口は広いのに、中の網目構造がつまっているため房水が排出できず眼圧が上昇して起こります。眼圧上昇が徐々に起こる為、長い間自覚症状がほとんど無く、症状が顕著になってから気付く場合が多いようです。

2、閉塞隅角緑内障

房水の排水口が、塞がれて狭くなることで、房水の流れが止まるため起こります。急に頭痛や眼痛が激しくなり、電球に虹の輪が見えたり、嘔吐がするなどの自覚症状が強い緑内障です。

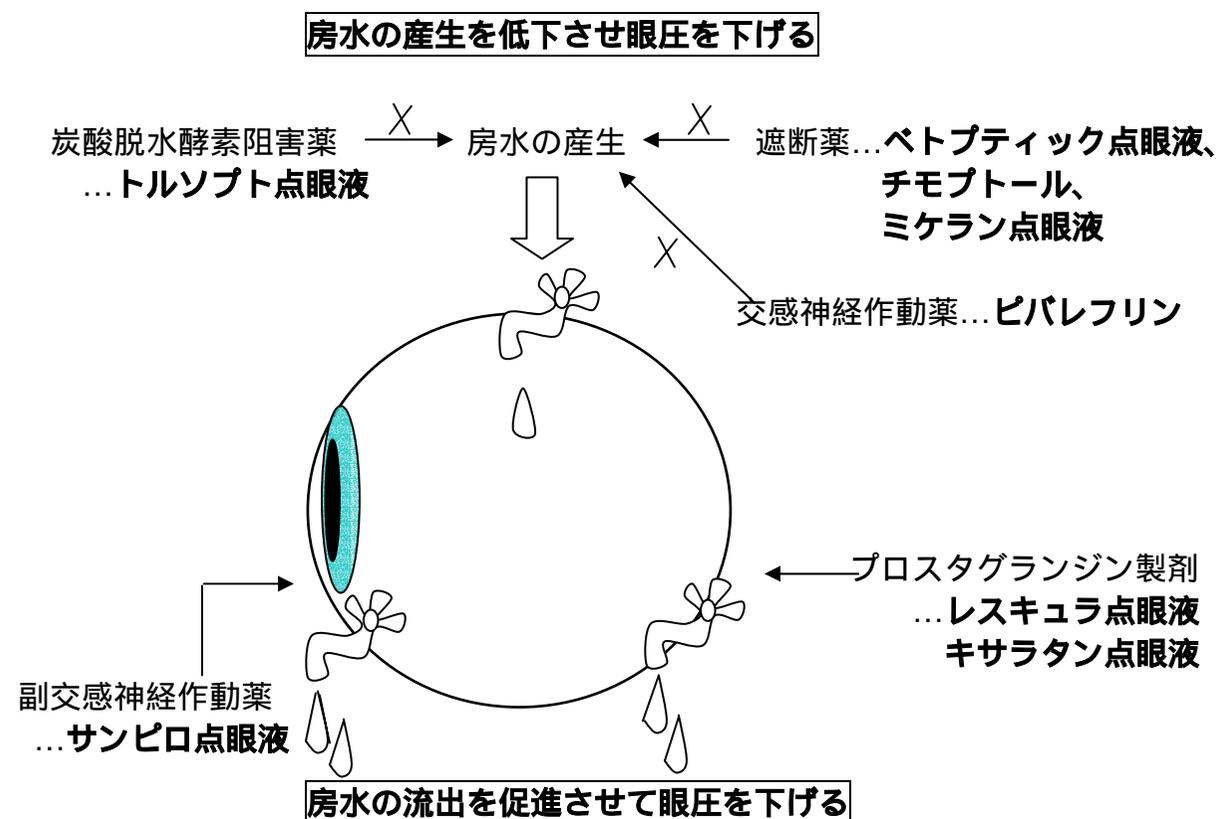
3、正常眼圧緑内障

眼圧が正常(20mmHg 以下)であるにもかかわらず、緑内障と同じ様な障害を示すもので、最近になってその患者数が意外と多いことがわかってきました。緑内障における疫学調査でも眼圧の低いタイプは高いタイプに比べて約3倍近くいることが判明し、今までの検査で眼圧が正常であった人も緑内障である可能性を捨てきれなくなってきました。

< 緑内障の起こりやすい素因 >

- ・眼球の奥行きが短い人(遠視) ...急性緑内障
- ・眼圧が高い(21mmHg 以上)
- ・肉親に緑内障患者がいる
- ・40歳以上
- ・高血圧
- ・糖尿病
- ・強い近視(特に開放隅角緑内障)

< 緑内障の治療薬 > (岡大病院採用薬)



< 最後に... >

紹介してきたとおり緑内障は早期発見、早期治療が極めて大切です。